

科目名	AMADEUS						
科目名(英)	AMADEUS						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	若松昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	アマデウスシステムは、業界で使われる端末の1つである。この授業では、都市コードや航空会社コード、空席照会、タイムテーブル、PNR作成やキャンセルなどの操作方法を学び、アマデウスシステムにおける航空券予約に関する基本的な内容の習得を目指す。アマデウス検定初級(Specialist)合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				海外の主要空港の3レターを答えることができる	
	○	○				日本に乗り入れしている航空会社の2レターを答えることができる	
		○	○			アマデウスシステムを使用し、旅程の空席照会ができ、画面の説明をすることができる	
		○	○			アマデウスシステムを使用し、PNRの作成やキャンセルをすることができる	
						模擬問題を時間内(60分)に解くことができ、初級(Specialist)に合格することができる	
テキスト・教材 参考図書	アマデウスユーザーガイド 予約 アマデウス予約クイックガイド						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	アマデウス概要説明 起動とサインイン、サインアウト			授業内容の復習をしておくこと		
	2	コード検索 (空港コード、航空会社コード、国コード)			授業内容の復習をしておくこと		
	3	情報検索 (日付、時刻検索、最低乗継時間)			確認テストの準備をしておくこと		
	4	コード検索、情報検索の確認テスト 空席照会			授業内容の復習をしておくこと		
	5	空席照会オプション ダイレクトアクセス			授業内容の復習をしておくこと		
	6	フライトスケジュール			授業内容の復習をしておくこと		
	7	タイムテーブル、アクセスレベル			授業内容の復習をしておくこと		
	8	PNR作成 (空席照会、フライト予約、ヘボン式ローマ字)			授業内容の復習をしておくこと		
	9	PNR作成 (乗継フライト予約、ネーム入力)			授業内容の復習をしておくこと		
	10	PNR作成 (小児・幼児入力) PNRの中断、再表示			授業内容の復習をしておくこと		
	11	PNRの中断、再表示			授業内容の復習をしておくこと		
	12	PNR作成 (項目のキャンセル、ARNK)			授業内容の復習をしておくこと		
	13	SSR (ミール、フリークエントフライヤー)			授業内容の復習をしておくこと		
	14	SSR (シートマップ)、OSI			授業内容の復習をしておくこと		
	15	SSR、OSIの追加、PNR項目のキャンセル、ヒストリー確認			テストの復習をしておくこと		
	16	PNR作成テスト実施 解答、解説			授業内容の復習をしておくこと		
	17	PNRの修正、変更			授業内容の復習をしておくこと		
	18	PNRの分割			授業内容の復習をしておくこと		
	19	PNRのコピー			確認テストの準備をしておくこと		
	20	時間を計測してのPNR作成テスト 解答・解説			授業内容の復習をしておくこと		
	21	模擬試験			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと		
	22	模擬試験			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと		
23	模擬試験			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2) 模擬試験を3回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験		○	○	○		80%
	小テスト	○	○		○		20%
履修上の注意	出席が16回に満たない場合は、単位付与しない						

科目名	GCB II						
科目名(英)	Global Citizen Basic II						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	浦川実子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシックII 志の教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンと“志”			振り返りレポートの作成		
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～			振り返りレポートの作成		
	3	自己を知る			振り返りレポートの作成		
	4	伝える力を学ぶ I ～プレゼンテーション～			振り返りレポートの作成		
	5	伝える力を学ぶ II ～グループコミュニケーション～			振り返りレポートの作成		
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～			振り返りレポートの作成		
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～			振り返りレポートの作成		
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)			振り返りレポートの作成		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						

科目名	カウンター接客演習						
科目名(英)	Counter reception Exercises						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	旅行会社において旅行 添乗員して勤務		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	店頭販売では、旅行パンフレットの内容を把握し、交通手段やホテル、料金の案内をしながら、予約や手配を行う。接客販売時のトーク(予約事項、案内事項など)力やマナーを身に付けることが求められる。この授業では、実際のパンフレットを使用し、1年次に学んだ観光資源や業界用語の復習をしながら、ロールプレイングを通して、接客販売業務を学ぶ。また、授業の集大成として、カウンタースキルコンテストを実施し、接客販売技術を競い、学び合う場とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				JR時刻表、航空時刻表を使い、時刻や手続きの案内ができる。		
	○				旅行パンフレットを使用して、旅行代金の説明や案内ができる。		
	○				ビジネスパックや東京ディズニーリゾートのパンフレットの説明ができる。		
			○	接客時の姿勢や振る舞い、パンフレットの指し方など、お客様へ配慮の行き届いた対応ができる。			
			○	ロールプレイングを通して、店頭販売時に行われる基本的な接客トークができる。			
テキスト・教材 参考図書	旅行パンフレットを使用(主にビジネスプラン、東京ディズニーリゾートのパンフレット) JR時刻表、航空時刻表						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	カウンタースキルコンテストについて カウンター(店頭販売)の仕事とは			旅行パンフレットを持ってくる指示をだすため、主力商品等のリサーチをしていくこと(発表あり)		
	2	旅行パンフレットについて(パンフレットの見方、概要、時刻表の使い方)			時刻表の使い方を復習しておくこと		
	3	ビジネスパック商品について(JR利用と航空利用の違いと商品概要)			都内のホテルのセールスポイントについて調べてくる宿題を出すため、発表の準備までしておくこと		
	4	ビジネスパック商品の販売(挨拶→商品の説明→手配までの流れ)			ビジネスパック商品の内容について復習しておくこと		
	5	ビジネスパック商品の販売 (ロールプレイングとキャンセル料等の案内について)			ロールプレイングを通しての改善点を復習しておくこと		
	6	東京ディズニーリゾート商品について(商品概要)			テーマパークについて調べてくる宿題を出すため、発表の準備までしておくこと		
	7	東京ディズニーリゾート商品の販売(ホテル選択と料金について)			東京ディズニーリゾートの人気ホテルについて調べてくる宿題を出すため、発表の準備しておくこと		
	8	東京ディズニーリゾート商品の販売 (挨拶→商品の説明→手配までの流れ)			東京ディズニーリゾート商品の内容について復習しておくこと		
	9	東京ディズニーリゾート商品の販売(料金案内までの販売練習)			ロールプレイングを通しての改善点を復習しておくこと		
	10	東京ディズニーリゾート商品の販売 (トーク力とマナーを意識した販売練習)			ロールプレイングを通しての改善点を復習しておくこと		
	11	海外旅行の商品について			海外商品についての復習しておくこと		
	12	海外旅行商品の販売(ロールプレイング 販売練習)			ロールプレイングを通しての改善点を復習しておくこと		
	13	カウンタースキルコンテスト準備(商品分析とロールプレイング)			コンテスト予選に向けての準備しておくこと		
	14	カウンタースキルコンテスト予選 発表と意見交換			コンテスト予選に向けての準備しておくこと		
15	カウンタースキルコンテスト予選 発表の続き、ファイナリスト決定			コンテスト予選に向けての準備しておくこと			
評価方法	(1)商品分析を宿題として、数回実施する。(2)授業の中で、宿題やロールプレイングを発表として実施する。(3)前期末に実施するコンテストの予選会を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	コンテスト予選	○	◎				70%
	宿題・発表・レポート	○	◎				30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ニューツーリズム概論						
科目名(英)	New Tourism Introduction						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高橋榮二		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	観光庁が推進するニューツーリズムについての理解を深め、旅行業の次のビジネスモデルへ繋げる事例を学ぶ。各地域の観光協会等の取組み事例を学び、そのノウハウを吸収する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					各種ニューツーリズムの特長を学び概要を説明できる。	
		○				各地域の実態に即したプランの作成ができる。	
		○		○		作成したプランのポイントを含め、プレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	・観光庁ホームページ ・観光協会ホームページ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ニューツーリズムが推奨される理由			授業で使用了資料の復習		
	2	エコツーリズムについて			授業で使用了資料の復習		
	3	グリーンツーリズムについて			授業で使用了資料の復習		
	4	ヘルスツーリズムについて			授業で使用了資料の復習		
	5	ロングステイ			授業で使用了資料の復習		
	6	文化観光、産業観光について			授業で使用了資料の復習		
	7	ニューツーリズムのまとめ			授業で使用了資料の復習		
	8	エコツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)			授業で使用了資料の復習		
	9	グリーンツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)			授業で使用了資料の復習		
	10	ヘルスツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)			授業で使用了資料の復習		
	11	ロングステイ(プラン作成及びプレゼンテーション)			授業で使用了資料の復習		
	12	文化観光、産業観光(プラン作成及びプレゼンテーション)			授業で使用了資料の復習		
	13	スポーツツーリズムについて			授業で使用了資料の復習		
	14	スポーツツーリズム(プラン作成及びプレゼンテーション)			授業で使用了資料の復習		
15	その他のツーリズム			授業で使用了資料の復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)プラン作成とプレゼンテーションを実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				70%
	発表・作品		◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ビジネス実務Ⅱ						
科目名(英)	Business Ability Test Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本美和子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	7月に実施されるビジネス能力検定3級の取得を目標に、テキストを基本に講義と過去問題演習を通じ、社会人としてのスキルを身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ビジネス用語の意味を理解、覚えることができる。	
		○				ビジネスマナーを身に付けることができる。	
		○				過去問題演習を通じ、解き方のコツを覚えることができる。	
				○		社会人として積極的に人間関係を築き、コミュニケーション能力を高めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本能率協会マネジメントセンター発行 B検 ビジネス能力検定 ジョブパス 3級 公式テキスト 2019年版						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業ガイダンス・ビジネス能力検定概要・ビジネス用語・ケース問題				ビジネス用語を覚える	
	2	ビジネス用語・新聞の読み方・情報収集				ビジネス用語を覚える	
	3	ビジネス用語・統計データの読み方				ビジネス用語を覚える	
	4	ビジネス用語・ビジネス文書・8つの意識				ビジネス用語を覚える	
	5	ビジネス用語・コミュニケーションとビジネスマナーの基本				ビジネス用語を覚える	
	6	ビジネス用語・コミュニケーションとビジネスマナーの基本				ビジネス用語を覚える	
	7	過去問題 解答 ①・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習	
	8	過去問題 解答 ②・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習	
	9	過去問題 解答 ③・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習	
	10	過去問題 解答 ④・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習	
	11	過去問題 解答 ⑤・ビジネス用語				ビジネス用語を覚える・誤答の復習	
	12	本試験 答え合わせ					
	13	冠婚葬祭(ロールプレ)					
	14	社会人として大切なこと					
15	講義の総まとめ						
評価方法	(1)ビジネス用語テスト (2)過去問題解答④ ⑤ (3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	小テスト	◎	◎				30%
履修上の注意	ジョブパス・ビジネス能力検定試験 3級を取得しましょう。						

科目名	ビジネス文書								
科目名(英)	Business Documents								
単位数	2		時間数	30時間		担当者	小川智子		
実施年度	2019年度		実施時期	前期		実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科2年								
授業概要	ビジネスシーンの中において必要な社内文書, 社外文書, 社交文書の知識を身に付け、ビジネス文書検定取得を目指す。また、社会人としてSNS内の正しい表現や使い方についても知識を深める。								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○					表記技能(総合, 用字, 用語, 書式)について理解できる。			
	○					表現技能(正確な文章, 分かりやすい文章, 礼儀正しい文章)について理解できる。			
		○				実務技能(社内文書, 社外文書, 文書の取り扱い)について理解できる。			
				○		文書による効果的コミュニケーションが出来る。			
テキスト・教材 参考図書	ビジネス文書検定受験ガイド3級, 実問題 他プリント								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	授業及び検定概要 自己診断テスト I 表記技能 1 総合				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	2	I 表記技能 2用字 3用語				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	3	I 表記技能 4書式 II 表現技能 1 正確な文章				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	4	II 表現技能 2 分かりやすい文章				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
	5	II 表現技能 3 礼儀正しい文章				練習問題の宿題に取り組む			
	6	III 実務技能 1 社内文書				練習問題の宿題に取り組む			
	7	III 実務技能 2 社外文書 3 文書の取り扱い				練習問題の宿題に取り組む			
	8	過去問題テスト解説①				練習問題の宿題に取り組む			
	9	過去問題テスト解説②				練習問題の宿題に取り組む			
	10	過去問題テスト解説③				練習問題の宿題に取り組む			
	11	過去問題テスト解説④				練習問題の宿題に取り組む			
	12	検定自己採点と復習				検定時に解答した内容を確認し問題用紙を持参する			
	13	実践ビジネス文書①(就活中の文書)				文書のケースについて考えておく			
	14	実践ビジネス文書②(業務中の文書)				文書のケースについて考えておく			
15	実践ビジネス文書③(社交文書, SNSの文書)				文書のケースについて考えておく				
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する。(2)宿題数回実施する。(3)演習問題(過去問題)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	小テスト	◎	◎				50%		
	宿題	◎	◎		○		30%		
	演習問題	◎	◎		◎		20%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。第65回ビジネス文書検定の受験は6月30日日曜日予定								

科目名	一般教養ⅡA						
科目名(英)	General education ⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力とSPI問題の解法を理解し、実際の採用試験に解答できる能力の修得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					漢字検定2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
	○					計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○					英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
	○					歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することが出来る	
○					数学の文章問題、四則演算を限られた時間の中で解答することが出来る		
テキスト・教材 参考図書	就職試験これだけ覚える適正検査スピード解法 オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要説明、第5回実力テスト					
	2	第1回: 世界史、英語、SPI: 玉手箱・分割払い			第1回: 国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと		
	3	第1回: 数学、第2回: 社会、SPI: 分割払い、料金の割引			第2回: 国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと		
	4	第2回: 英語、数学、SPI: 割引料金と精算、仕事算			テキストの該当部分復習しておくこと		
	5	第3回: 社会、SPI: 割合、損益算			第3回: 国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと		
	6	第3回: 数学、英語、SPI: 損益算、速度算			第4回: 国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと		
	7	第4回: 数学、社会、英語、SPI: 速度算、集合			第5回: 国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと		
	8	第5回: 数学、英語、社会			第6回: 国語(1) テキストの該当部分復習しておくこと		
	9	第6回: 社会、英語、SPI: 集合、推論			第7回: 国語(1, 2, 3) テキストの該当部分復習しておくこと		
	10	第7回: 社会、英語、数学、SPI: 推論			第8回: 国語(1, 2, 4) テキストの該当部分復習しておくこと		
	11	第8回: 社会、英語、数学、SPI: 推論、四則演算			第9回: 国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと		
	12	第9回: 英語、数学、社会、SPI: 四則演算、割合			第10回: 国語(1) テキストの該当部分復習しておくこと		
	13	第10回: 数学、社会、英語			テキストの該当部分復習しておくこと		
	14	第10回: 英語、SPI: 売買分割、推理、順列・組み合わせ			テキストの該当部分復習しておくこと		
15	まとめ: 前期試験範囲振り返りと対策			テキストの該当部分復習しておくこと			
評価方法	(1) 定期試験 (2) 宿題や課題 (3) 授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外プランニング実務						
科目名(英)	overseas planning						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高橋榮二		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	海外企画・手配旅行の商品からプランニングの基礎を学び、アジア・アメリカ・ヨーロッパの観光資源を理解する。JATAのコンテストへ向けて、独創的な魅力ある商品づくりにチャレンジする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					世界各国、方面毎の特長を説明できる。	
		○				具体的な方面を決めて、旅行プランを作成できる。	
		○		○		作成したプランについて、セールスポイントを説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	各種関連資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	海外プランニングの概要、企画・手配旅行の現状			授業で使用した資料の復習		
	2	アジアの観光資源・主要各国の特性			授業で使用した資料の復習		
	3	アジアの旅程作成①、コースとセールスポイント			アジアの概要を予習		
	4	旅程①のフィードバック、旅程②作成			フィードバック内容の確認		
	5	アメリカ・カナダの観光資源・各国の特性			授業で使用した資料の復習		
	6	アメリカ・カナダの旅程作成①、コースとセールスポイント			アメリカ・カナダの概要を予習		
	7	旅程①のフィードバック、旅程②作成			フィードバック内容の確認		
	8	ヨーロッパの観光資源・主要各国の特性			授業で使用した資料の復習		
	9	ヨーロッパの旅程作成①、コースとセールスポイント			ヨーロッパの概要を予習		
	10	旅程①のフィードバック、旅程②作成			フィードバック内容の確認		
	11	JATAコンテスト企画書作成			企画内容の検討		
	12	JATAコンテスト企画書作成			企画内容の検討		
	13	JATAコンテスト企画書作成			企画内容の検討		
	14	JATAコンテスト企画書作成			企画書の仕上げ		
15	まとめ			全体の振り返り			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)企画書を作成する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				70%
	企画書作成		◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外観光地理ⅡA						
科目名(英)	Overseas tourism geography ⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大岡牧代		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	旅行業界および旅行関連業界で働くうえで、海外の観光地理知識は必須である。 この授業では、どのようなものが観光資源となり得るのかを理解し、日本からの渡航者が多いヨーロッパ主要国の観光地理についての知識を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ヨーロッパ主要国およびそれらの首都の名称と位置が把握できている。	
	○					ヨーロッパ主要国の使用言語や使用通貨など国の概要を説明することができる。	
		○				世界遺産や料理、伝統行事など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					ヨーロッパ主要国の観光資源を1か国につき15以上挙げることができる。	
			○			各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・JTB総合研究所「海外観光資源」 ・帝国書院「旅に出たくなる地図 世界」など						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	観光資源とは、世界遺産について			授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索してイメージをつかむこと。		
	2	イタリアの観光資源① — 国の概要、イタリア中部～南部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	3	イタリアの観光資源② — イタリア北部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	4	スペインの観光資源① — 国の概要、スペイン中部～南部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	5	スペインの観光資源② — スペイン南部・北部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	6	イギリスの観光資源① — 国の概要、イギリス南部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	7	イギリスの観光資源② — イギリス中部～北部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	8	フランスの観光資源① — 国の概要、フランス中部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	9	フランスの観光資源② — フランス北部・南部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	10	ドイツの観光資源① — 国の概要、ドイツ北部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	11	ドイツの観光資源② — ドイツ南部			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	12	スイスの観光資源 — 国の概要、スイス全域			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	13	北欧の観光資源 — 北欧諸国の概要			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	14	映像作品の中の観光資源			ヨーロッパがロケ地となった映画やTV番組などを鑑賞していただくこと。		
15	ヨーロッパ主要各国の基礎知識と観光資源のまとめ			前期期末試験に向けて、学習範囲の復習をしておくこと。			
評価方法	(1)授業内で配布する国別記入式プリントを定期的に回収し評価する。(2)課題提出を1回課す。 (3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業プリント	◎	○		◎		25%
	課題	◎	◎				25%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外商品分析						
科目名(英)	Overseas Planning Articles Analysis						
単位数	2単位	時間数	30j時間	担当者	齊藤道幸		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	旅行会社の販売上の基本的なツールである海外企画商品パンフレットの内容を理解し、正確に顧客に伝えることを学ぶ。企画商品の販売上の注意点並びに海外諸国の注意点も理解できるように学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				海外企画商品の約款上の注意点を理解し 顧客に案内できる。	
	○	○				海外企画商品パンフレット注目点、特徴、セールスポイントを案内できる。	
	○	○				海外企画商品のケーススタディ演習(旅行の税金関係、旅行代金の算出できる。	
テキスト・教材 参考図書	講師作成レジメ、各旅行会社の海外企画商品パンフレット						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業の進め方、シラバス説明、海外企画商品とは何か					
	2	ハワイ企画商品パンフレットを読む、特徴、セールスポイント			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	3	ハワイ企画商品ケーススタディ演習①			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	4	ハワイ企画商品ケーススタディ演習②			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	5	ハワイ企画商品ケーススタディ演習③			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	6	韓国企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	7	韓国企画商品ケーススタディ演習①			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	8	韓国企画商品ケーススタディ演習②			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	9	確認テスト①			今までの授業の復習、主に旅行代金算出演習		
	10	東南アジア企画商品のパンフレットを読む、特徴、セールスポイント			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	11	東南企画商品ケーススタディ演習(タイ)①			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	12	東南企画商品ケーススタディ演習(シンガポール)②			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	13	東南企画商品ケーススタディ演習(ベトナム)③			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
	14	東南企画商品ケーススタディ演習(香港)④			事前に課題のパンフレットを読んでおくこと		
15	確認テスト②			今までの授業の復習、主に旅行代金算出演習			
評価方法	(1)授業の中で小テスト(確認テスト)を2回実施。(2)授業の中でケーススタディ演習を実施し、学生が発表						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(確認テスト)	◎	○				60%
	授業中の発表	○	○		◎		40%
履修上の注意	5回欠席で単位不可						

科目名	観光業界時事						
科目名(英)	Tourism industry current topics						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高橋榮二		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	旅行業をはじめ観光業界の現状と今後の展望について学び、就職活動に活かしていく。 主要な企業の特徴を理解し、自身の企業選択のヒントにする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					旅行業を含む観光業界全般への知識を深めそれぞれの業務を理解できる。	
		○				旅行業界の現状と今後の展望について説明できる。	
		○		○		就職を希望する企業の特徴を理解し説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	週刊トラベルジャーナル、資料プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業の概要と目的の説明、学生各自の就職目標の把握			授業で使用した資料を復習する。		
	2	業界のトピックス、求人の来ている旅行会社の概要			授業で使用した資料を復習する。		
	3	業界注目のニュース、訪日客対応支援について			授業で使用した資料を復習する。		
	4	業界注目のニュース、訪日クルーズ商品の現状			授業で使用した資料を復習する。		
	5	業界注目のニュース、JTBの新たな戦略			授業で使用した資料を復習する。		
	6	業界注目のニュース、国際MICEの波及効果			授業で使用した資料を復習する。		
	7	業界注目のニュース、海外旅行企画コンテスト			授業で使用した資料を復習する。		
	8	業界注目のニュース、取扱額からみる旅行会社の特長			授業で使用した資料を復習する。		
	9	業界注目のニュース、渡航先別日本人訪問客数			授業で使用した資料を復習する。		
	10	業界注目のニュース、添乗員の現状			授業で使用した資料を復習する。		
	11	業界注目のニュース、旅行業界の苦情の現状			授業で使用した資料を復習する。		
	12	業界注目のニュース、弁済業務保証金制度改正について			授業で使用した資料を復習する。		
	13	業界注目のニュース、業界のリーダーの言葉			授業で使用した資料を復習する。		
	14	業界注目のニュース、IR法案について			授業で使用した資料を復習する。		
15	授業内容振り返り						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業内容に関するレポートを作成する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				70%
	レポート		◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合には、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	韓国語基礎					
科目名(英)	Korean language					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧愛連	
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	トラベル科・2年					
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。					
授業形式	講義:	○	演習:		実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				ハングル文字のつくりを理解し、書くことができる
	○					地名、名称、会話関連の単語の意味を説明することが出来る
		○				自己紹介や文章作成をすることができる
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	韓国語について、文字の仕組み、基本挨拶、返事、基本母音				
	2	復習 基本子音、子音と母音を組合せ文字づくり				
	3	復習 基本子、音、子音と母音を組合せ文字づくり、複合母音				
	4	文字づくり学習の為のテスト。十分に理解でき、慣れるまでテスト				
	5	基礎続き 文字仕組み パッチム				
	6	基礎続き 文字仕組み パッチム 単語まとめ				
	7	基礎 発音変化 その1				
	8	基礎 発音変化 その2 単語まとめ小テスト				
	9	1課 ~です、挨拶、簡単な自己紹介 (基礎単語確認)				
	10	復習 1課 続き、練習問題 ボキャブラリーバンク				
	11	2課 ですかを含む自己紹介の続き、練習問題				
	12	復習 2課 続き、練習問題、ボキャブラリーバンク(家族の呼称)				
	13	3課 否定文 ~ではありません、か。(1, 2課まとめ小テスト)				
	14	3課 続き 練習問題 ボキャブラリーバンク				
15	前期学習分総まとめ 期末テスト対策					
評価方法	1. 授業中に小テストを3回実施する。2. 定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	小テスト		◎		○	
	定期試験		◎			
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	業界ビジネス英語A								
科目名(英)	Travel Business English A								
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	栗本 聡				
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○				
対象学科・学年	トラベル科・2年								
授業概要	実際に海外旅行の添乗をしているようなシチュエーションで実践的に英会話を学ぶことにより、旅行業界で使用する英語に慣れる。簡単な英会話ができ、簡単な英文が読め、旅行業界で役立つ表現を習得する。								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○					旅行業界で役立つ英語表現ができる。			
		○				海外旅行で使用する簡単な英会話がわかる。			
		○				海外で目にする簡単な英文を読むことができる。			
テキスト・教材 参考図書	ツアーコンダクターの英語 JTB総合研究所								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	Unit 1・Travel Information				本日学んだ表現を必ず復習			
	2	Unit 1・Travel Information				本日学んだ表現を必ず復習			
	3	Unit 1・Travel Information				本日学んだ表現を必ず復習			
	4	Unit 2・At the Airport				本日学んだ表現を必ず復習			
	5	Unit 2・At the Airport				本日学んだ表現を必ず復習			
	6	Unit 3・Hotel				本日学んだ表現を必ず復習			
	7	Unit 3・Hotel				本日学んだ表現を必ず復習			
	8	Unit 4・Dining				本日学んだ表現を必ず復習			
	9	Unit 4・Dining				本日学んだ表現を必ず復習			
	10	Unit 6・Buses and Trains				本日学んだ表現を必ず復習			
	11	Unit 6・Buses and Trains				本日学んだ表現を必ず復習			
	12	Unit 8・Sightseeing				本日学んだ表現を必ず復習			
	13	Unit 8・Sightseeing				本日学んだ表現を必ず復習			
	14	Unit 11・Tour Conductor Duties				本日学んだ表現を必ず復習			
15	総復習				前期試験の準備				
評価方法	(1)小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)出席・授業態度。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	○					80%		
	小テスト	○					10%		
	出席・授業態度				○		10%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。								

科目名	社会教養ⅡA						
科目名(英)	Social StudyⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松 昌枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	就職活動の基本を理解し、就職活動準備や就職試験対策(履歴書作成・エントリーシート作成、面接対策など)を行い、希望業界・企業、希望職種への内定を目指す						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		就職活動準備(企業研究、履歴書・エントリーシート作成、過去受験内容の整理)	
				○		就職試験対策(筆記試験、面接練習等)	
テキスト・教材 参考図書	資料プリント等						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	就職情報伝達目標設定			自分の就職の方向性を考えておくこと		
	2	企業研究の仕方の説明			企業名を調べておくこと		
	3	就職活動指導－就職斡旋規定の確認と理解			就職ノートを準備しておくこと		
	4	就職活動指導－求人票の見方			ノートの記入内容を復習しておくこと		
	5	就職活動指導－履歴書、エントリーシートの書き方指導			ノートの記入内容を復習しておくこと		
	6	就職活動指導－面接の種類について			ノートの記入内容を復習しておくこと		
	7	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
	8	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
	9	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
	10	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
	11	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
	12	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
	13	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
	14	就職試験対策－履歴書、エントリーシート作成、筆記試験・面接対策			就職受験準備をしておくこと		
15	前期の振り返り			ノートの記入内容を復習しておくこと			
評価方法	(1)出席率。(2)提出物の期限を遵守する。(3)就職活動への取組み状況。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	提出物状況				○		10%
	就職活動の取組み				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	手話入門						
科目名(英)	Sign language						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平嶋光希		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	手話入門編 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使って、聴覚障がい者に伝え合う事を学ぶ。 手話の基本を身に着ける(指文字・挨拶・数字 等)						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識を身につけることができる。	
	○					聴覚障がい者の生活を理解することができる。	
		○				手話の基本を身に着けることができる。	
テキスト・教材 参考図書	手話を学ぼう手話で話そう、手話技能検定(5・6・7級)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	伝え合う。名前の紹介 基礎の学習					
	2	伝え合う。名前の紹介 基礎演習					
	3	伝え合う。名前の紹介 応用演習					
	4	家族の紹介					
	5	数を使って話す、伝え合う					
	6	趣味について話す、伝え合う					
	7	仕事について話す、伝え合う					
	8	住所の紹介					
	9	1～8講座のまとめ 自己紹介					
	10	1日のことについて話す、伝え合う					
	11	1ヵ月のことについて話す、伝え合う					
	12	1年のことについて話す、伝え合う					
	13	パーティ、旅行について話す、伝え合う					
	14	自己紹介(実技)					
15	確認テスト(読取)						
評価方法	(1)授業の中で小テストを10回実施する。(筆記・実技) (2)レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(筆記)7回	◎	○				30%
	小テスト(実技)3回		◎				60%
	レポート				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	総合旅行業務取扱管理者対策補講Ⅱ						
科目名(英)	National examination Supplementary lecture Ⅱ						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松昌枝/大岡牧代		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	トラベル科・2年						
授業概要	総合旅行業務取扱管理者試験の対策として、国際航空運賃、海外実務科目の補講を実施。国家資格の取得を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					国際航空運賃の内容を理解し、関連問題を解くことができる。	
	○					出入国実務の内容を理解し、関連問題を解くことができる。	
	○					海外旅行実務の内容を理解し、関連問題を解くことができる。	
	○					模擬試験を通して設問を理解し、正答できる。	
テキスト・教材 参考図書	国内・総合旅行業務取扱管理者速習レッスン、模擬試験、各資料プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目学習－国際航空運賃分野の学習と当該問題の理解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	科目学習－出入国実務分野の学習と当該問題の理解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	科目学習－海外旅行実務分野の学習と当該問題の理解				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	演習問題(1回目)－過去問題の実施と解答解説				各科目を復習しておくこと	
	5	演習問題(2回目)－過去問題の実施と解答解説				前回過去問題を復習しておくこと	
	6	模擬試験(1回目)の実施と解答解説				各科目、過去問題を復習しておくこと	
	7	模擬試験(2回目)の実施と解答解説				前回模擬試験内容を復習しておくこと	
	8	模擬試験(3回目)の実施と解答解説				前回模擬試験内容を復習しておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)各科目の確認テストを実施。理解度確認と評価を行う。 (2)模擬試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	各科目確認テスト	○	◎				25%
	模擬試験		◎		○		50%
	補講への取組み				◎		25%
履修上の注意	対策補講は希望者を対象に実施。						